

[安全靴用加硫形接着剤]
ダイアボンド DN247A・B

ダイアボンドDN247A・Bは、安全靴用に開発された加硫形ニトリルゴム系接着剤です。

§ 一般性状

	DN247A	DN247B
主成分	ニトリルゴム	ニトリルゴム
外観	黒色	黒色
不揮発分 (%)	29.5 ± 1.5	29.5 ± 1.5
粘度 (mPa・s) at20℃	1,000 ~ 2,000	1,000 ~ 2,000
保証期間 (月) at25℃	6	6
混合比 (重量比)	100 対 100	

§ 接着強さ

はく離強さ (N/25mm)

常態	耐熱	耐油	屈曲	皮膜ポットライフ
520 R**	130 R*L	500 R**	500 R**	500 R**

R** : ゴム破壊 R*L : ゴム破壊一部甲革面はく離

被着材 甲革 (安全靴用甲革) 対 未加硫 NBR

試験方法

接着法

甲革 (バフ処理) / 未加硫ゴムの加熱接着試験

甲革に塗布量約 200 g/m² 片面塗布した後、オープンタイム 40 分 (内 40℃5 分間の加熱処理をいれた) とった後、下記条件で接着

加硫温度	甲革面	100℃
	ゴム面	170℃
加硫時間	10 分	
加硫圧力	2 MPa	

測定法

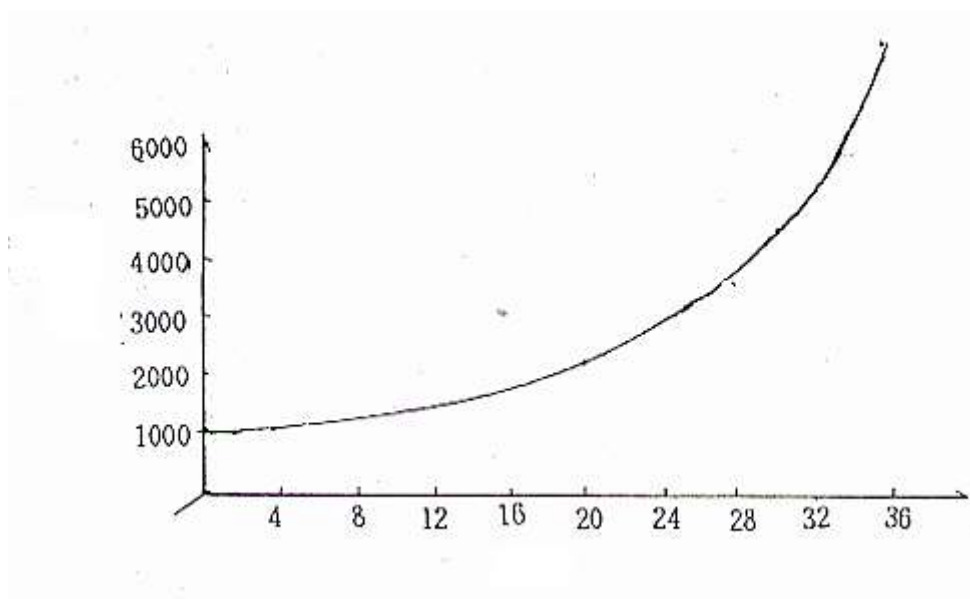
はく離試験	……………	JIS K 6854
試験機	……………	島津製作所製 オートグラフ AG5000A 形
引張り速度	……………	200mm/分
引張り方向	……………	180 度

試験項目

常態	接着後、常温で 48 時間放置後のはく離強さを測定
耐熱	接着後、常温で 48 時間放置後、70°C×20 分経過後その温度下にてはく離強さを測定
耐油	接着後、常温で 48 時間放置後、マシン油・120 内に 24 時間浸漬し、はく離強さを測定
屈曲	接着後、ディマッチャー式屈曲試験機を 50000 回行った後のはく離強さを測定
皮膜ポットライフ	甲革に接着剤を塗布後、40°C×96 時間投入した後、接着し、はく離強さを測定

§ ポットライフ

DN 2 4 7 A と DN 2 4 7 B を等量混合した後、約 4 時間おきに粘度を測定。



§ 注意事項

- ・ 保管中に分離することがありますので、使用前に全体が均一な層になるまで攪拌してご使用下さい。
- ・ 火気のあるところでは使用しないで下さい。
- ・ 取扱い作業場所には、局所排気装置を設けて下さい。
- ・ 取扱い作業中には、換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにして下さい。
- ・ 取扱い中は、できるだけ皮膚にふれないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスクまたは送気マスク、保護手袋、前掛けなどを着用して下さい。
- ・ 火災時には炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いて下さい。
- ・ 目に入った場合には、多量の水で洗い、できるだけはやく医師の診察を受けて下さい。
- ・ 蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けて下さい。
- ・ 誤って飲み込んだ場合には、水で口の中をよく洗い、ただちに医師の診察を受けて下さい。
- ・ 皮膚に付着した場合は、すぐに付着物をふき取り、水と石けんでよく洗います。
- ・ 容器を密閉して、直射日光の当たらない場所で、5℃～35℃で保管して下さい。
- ・ 器具の洗浄にはメチルエチルケトンをご使用下さい。
- ・ 容器からこぼれた場合には、布で拭きとって、密閉できる容器に回収して下さい。
- ・ 空容器は、中身を使いきってから廃棄して下さい。
- ・ 接着剤を廃棄する場合、産業廃棄物の許可を受けた専門業者に委託して下さい。
- ・ 子供の手の届かないところに保管して下さい。
- ・ 本来の用途以外には使用しないで下さい。
- ・ 消防法：第四類第一石油類（非水溶性液体）（危険等級Ⅱ）に該当

☆ 上記の接着性能データは、当社実験室で得られた値ですので、接着剤選定の目安としてご使用下さい。環境条件や作業条件などにより、得られる値も変化しますので、より正確な接着性能を求めたい場合は、それぞれの用途に合わせて確認試験されることをお勧めします。